

皆様、こんにちは。コロナ禍の中、いかがお過ごしでしょうか。第1回に引き続き今回の記事は竹中が担当させていただきます。

このような「withコロナ」の環境において、我々の生活が大きく変化したのはもちろん、子供たちの生活についても一変することになりました。そこでふと、「大人でさえこれほどストレスを感じているのに、子供たちはどう考えているのだろうか？」と疑問を覚えましたので、今回は「コロナ禍の子供たち」と銘打ちまして、サンプルである小2の息子にコロナに関していくつかインタビューを行ってみました（サンプル数が少なく申し訳ありません）。それではさっそく回答を見てみましょう。（補足：幼稚園年中の娘には何を聞

いても「いやや」という回答でしたので、個別記載は割愛させていただきます）

**Q. コロナのせいで嫌だったことは？**

**A. 旅行に行けなかったこと、マスクが面倒、学校の勉強が進まなくて嫌だった**

⇒当初旅行に行く予定をしていたため、それが潰れたのがショックのようでした。勉強が進まなくて嫌なんて、なんてできた子でしょうね（笑）

**Q. 逆に良かったことはある？**

**A. コロナの間休めてよかった。夏休みが少なくなった分より休みが増えた方が多かった。嫌だっ**

た工作発表がなくなった。

⇒休日数の計算ができるようです。合理的。そしてどうやら図工は苦手なようです。

**Q. 学校生活に何か変化はあった？**

**A. とくに変わらん。マスクしてるくらい。**

⇒やっぱりマスクは嫌なようです。私も熱中症対策という名目で外でもちよいちよい外しています。

**Q. 友達との過ごし方は？**

**A. 遊べる時間が減った。もっと遊びに行きたかったのにママに止められた。**

⇒こういうときのママは悪者扱いでかわいそう。



## ダイバーシティ推進委員会企画記事 「子育てパパ会計士の日常」第4回 コロナ禍の子供たち

ダイバーシティ推進委員会 副委員長 竹中 陽介

**Q. 休んでいる間の過ごし方は？**

**A. 基本的に暇やった。学校の宿題がめちゃくちゃ多かったし、習っていない漢字が出た。あとはYouTube見た。**

⇒安倍総理による臨時休校要請が出た当初、各家庭はもちろん学校側も非常に混乱している様子が伺えました。あと、この当時にめでたく(?) YouTubeを覚えました。

**Q. 塾のオンライン授業はどうだった？**

(注：小学校は公立ですので、種々の理由でオンライン授業は取り入れられませんでした。通ってい

る塾で一時期Zoomによる授業を実施していました)

**A. めちゃくちゃ嫌だった。普段は楽しくていつの間にか時間が過ぎるのに、家だと時計が気になって長く感じた。みんなともしゃべりにくい。**

⇒当時このコメントを聞いたときは夫婦で急いで時計を隠しました。塾はいわゆる進学塾等とは毛色の違うところなのですが、楽しく通ってくれていて何よりです。



皆さま、いかがでしたでしょうか。私が想定していたよりもマイナスのコメントは少なく、むしろコロナを吹き飛ばす元気さで一安心しました。この記事を書きかけに、皆さまの家庭でもぜひ一度子供たちの声に耳を傾けていただけましたら幸いです。



インタビュー回答中の息子（小2）